

工藤篤子メールマガジン 163号 2010.10.13

●心を込めて誠実に ~Osaka Ladies Luncheon~

お元気でいらっしゃいますか？
9月24日、無事大阪に到着しました。

AKMMが事務局を置かせていただいている北浜のVIP関西センターでは、フランクリン・グラハム事務局が設置されています。

10月22日～24日の大阪城ホールでの本大会に向けて、関西圏の多くの教会が協力し合って、たくさんの準備集会、祈り会が行われています。今回の大会を通して、多くの人々がキリストの救いに導かれることを心から願っています。※「関西フランクリン・グラハム・フェスティバル」<http://www.fgraham-kansai.jp/>



●心を込めて誠実に ~Osaka Ladies Luncheon~

10月5日、リーガロイヤルホテルで行われた『第83回大阪レディーズランチオン』で、メッセンジャーの黒田禎一郎師とともに奉仕をさせていただきました。

大阪レディーズランチオンは、42年前、南大阪聖書教会の古林寿真子師が中心となって始められた会です。当時、日本では、「ランチオン」という言葉もまだ聞かれませんでした。しかも、高級ホテルでお食事をしながら福音を聞くなど考えられなかった頃です。けれども、古林先生は、誰もが行ってみたいと思うゴージャスな場所で最高のお食事を提供すれば、必ず多くの人が集まり、福音を聞いてくださると確信しました。

最初は、教会の理解を得るのは容易なことではなかったようです。しかし、回を重ねるごとに賛同教会が増えて行き、これまで年に2回のランチオンが42年も続けられてきました。

今回の賛美奉仕で、私が最も感動したのは、スタッフの婦人たちのチームワークでした。多くが婦人牧師、牧師夫人です。普段とても忙しい方々が、時間を割き、祈り合いながら集会のために黙々と準備を進めてきました。

ランチオンは10時から始まりましたが、8



時すぎには、控室で熱い祈りが捧げられていました。9時15分にホテルの会場の扉が開かれると、奉仕のご婦人たちが、得も言われぬ美しい笑顔で来場者をお迎えしました。各テーブルには接待・ケアのための奉仕者が配置され、お客様が帰られるまで、ひとりひとりに細心の心配りをしてくださいました。

今回のランチョンの参加者は約400名、そのうち、3~4割がノンクリスチャンでした。私は、実行委員の皆さんの熱い祈りに支えられ、ステージに立った瞬間から主の溢れるご臨在を感じ、歌う前から涙が溢れそうでした。そして、主の導きの中で証しし、心からの賛美を捧げることができました。野田常喜さんの伴奏も、実に感動的でした。黒田禎一郎師のメッセージは、とても明瞭で、力強く、多くの方々の上に深く響きました。

アンケートには、16人の方が、「今日、イエス・キリストを救い主として信じる決心をします」の欄に記入されました。ランチョン実行委員会では、これからその方々を近隣の教会に導くフォローアップの働きが始まります。「聖書を読んでみたい」「教会を紹介してほしい」「聖書通信講座を送ってほしい」などの欄にも、多くの方々が記入されていたので、そのためのフォローアップも始まります。ランチョンで蒔かれた福音の種が、さらに芽を出し、守られ、主によって育てられてゆきますようにと、心から祈っています。



最後に、現・ランチョン実行委員長の押方 恵師（金剛のぞみキリスト教会 牧師）が、謙遜にこうおっしゃいました。「私たちは、ひとつひとつのことを、心を込めて誠実にやっているだけなのです」。42年間、この大きなことを続けて来られた秘訣は、救霊のために、毎回新たな思いをもって、誠実に主に仕えて来られたからなのでした。

小さい事に忠実な人は、大きい事にも忠実であり、小さい事に不忠実な人は、大きい事にも不忠実です。

ルカ16:10

押方先生の言葉を聞いて、自分の不誠実だった部分を主に示され、悔い改めに導かれました。秋のひとつひとつのコンサートを、また、そのためのひとつひとつの小さな準備を、主のために、誠実に、心を込めてさせていただこうと思っています。

●これからのコンサートのためにお祈りください

♪ソプラノとテオルボのひととき

10月17日、大阪のぞみ教会にて、世界的に活躍されているリューティストの今村泰典さん（スイス在住）

と、テオルボ（リュートより少し大きい、バロック時代の楽器）とのジョイントコンサートをします。今回は、今村さんが作曲された賛美曲、バッハ、シュッツ、カタロニア民謡、聖歌などに加え、今村さんのテオルボ・ソロ演奏も聞くことができます。コンサートのテーマは「祈りと喜びと感謝」です。チケットご希望の方は、以下のURLを開いてご覧ください。<http://www.osakanozomi.org/concert2010.html>

♪ハウス・オブ・ホープ支援チャリティー・コンサート

10月28日（木）、AKMMでは、ミャンマーの孤児院「ハウス・オブ・ホープ」（希望の家）のために、チャリティー・コンサートを開催します。

希望の家は今年で7年目を迎えています。けれども、今も自分たちの家がなく、子供とスタッフ20人は借家に住んでいます。実は、数年前土地を購入しました。設計図も作って、期待が膨んでゆきました。M宣教師も建築資金を呼びかけ、捧げられた献金で、フェンスを廻らし、トイレ一つを建てることができました。しかしそこで資金は尽き、工事はストップしてしまいました。超インフレによって、建築資材が高騰する中で、小さな孤児院が自分たちの家を建てる道は見えなくなりました。時々与えられる資金で少しずつ工事を進めるのは適さないと判断し、建築実現の時を主に委ねて待ちました。

そして、今回のAKMMのチャリティー・コンサートを機に、M宣教師は、いよいよ建築を開始しようとしています。子供とスタッフ合わせて約40人が生活できる、2階建て家屋の建築予算は約300万円。AKMMは、今回のチャリティー・コンサートを通して、出来る限り多くの献金をお捧げしたいと願っています。皆さんに、ハウス・オブ・ホープの子供たち、スタッフのためのお祈りとともに、孤児院建設にご協力いただけますなら感謝です。

・チケットご希望の方は、AKMM事務局までご連絡ください。

Tel.06-6226-1334

（詳細は、添付のチラシをご参照ください）

・また、孤児院建設のために、献金をお捧げくださる方は、「ハウスオブホープ支援」とご記入の上、AKMMの口座にお振り込みください。

「工藤篤子音楽ミニストリーズ」郵便振替口座：

00900-7-317989

今年の夏のヒートアイランドで、多くの方が、未だ体調が戻らないとおっしゃっています。主が健康を守ってくださいますようにと祈っています。

主の溢れるご愛と恵みが、皆さまと共にありますように！

工藤篤子

